

雄勝地区

おがつ産業まつり・海鮮市ウニまつり

7月4日(日)、雄勝シーサイドふれあい広場で「おがつ産業まつり」東部支所・海鮮市ウニまつり」が開催され、約4,300人でにぎわいました。

朝に水揚げしたばかりの身のたっぷり入った新鮮で格安なウニを求めて、午前8時半の販売前から大勢の人が列をつくりました。

初めて、ウニの殻むきに挑戦した千葉県から来たカップルは「ウニむきは大変でしたが、それ以上に甘くておいしいから大丈夫。千葉からの道中でウニの歌もできたんですよ」と笑顔で話していました。



河北地区

ハッスルプレーに笑顔と大歓声!



7月8日(木)、河北総合センター(ビッグバン)で「河北老人スポーツ大会」が行われました。

参加者は河北地区全域の22の老人クラブ会員約70人で、ラケットでバレーボールを運ぶ「ビッグスプリンレース」や、一人三脚で行う「二人は二輪走」など、全8種目で競技されました。

今回優勝したのは、二俣第二チームで、上位入賞を4つ制したパワフルなチームでした。

この日は30℃を超す真夏日でしたが、その暑さを超えるハッスルプレーの連続で、会場も終始にぎわいました。

※オープニングでは飯一小高学年のYOSA KOOKASHIワソランの披露、玉入れには飯野川保育所の児童たちも参加しました。

桃生地区

長生大学開講式

今年度は、カラオケ・スポーツダンス・書道・舞踊の四種の教室に61人が入学し、6月23日(水)に桃生公民館文化ホールで行われた開講式には、53人が出席しました。式では初めに受講生の確認が行われ、受講生一人ひとりの名前が読み上げられました。

長生大学では、午前中はカラオケなどの趣味の教室が、午後からは受講生全員での教養講座が行われます。

平成23年2月の閉講式まで月に1、2回合計で10回の開催を予定しています。6回以上出席した受講生には修了証が、午前の教室、午後の講座ともに無欠席の受講生には皆勤賞が授与されます。



河南地区

笑顔で脳活性化



7月2日(金)、河南農村環境改善センターにおいて「6地区合同 脳いきいき交流会」が開催されました。

介護を必要としない元気な高齢者であるために、健康づくりに励んでいる河南地区内6つの脳活性化教室の参加者が集まり、日ごろの活動の紹介と情報交換を行いました。

参加した6つの教室は「葭入あすなろくらぶ」、「砂押友愛クラブ」、「根方がやき教室」、「新田町健康づくり教室」、「つきつき音楽歩」、「表沢あさひやま教室」で、全員で歌ったり踊ったり、体操をしたり、終始笑い声の絶えない楽しいひとときを過ごしました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

7月7日(水)、牡鹿体育館で、バレエボールの全日本代表として、オリンピックなどで活躍した藤本美加(旧姓 山内)さんが牡鹿中学校の生徒たちに、講話とバレエボールの実技指導を行いました。

これは、「スポーツ選手活用体力向上事業」の一環として、スポーツの楽しさを経験させ、自主的にスポーツを行うきっかけをつくることを目的に行われたものです。

生徒たちは、元オリンピック選手の直接的指導に緊張しながらもみな笑顔で参加し、「もう一度機会があれば、自分の打ったスパイクやレシーブを見てもらいたい」「自分も小学校から続けているスポーツをずっと続けて、スポーツの楽しさをたくさんの人に伝えていきたいなどの感想を述べ、充実した一日を過ごしました。



元オリンピック選手がやってきた!

北上地区



川はみんなのたからもの「海岸清援隊」開催

7月3日(土)、北上地区立神・白浜海岸において「第11回海岸清援隊」が開催されました。

岩手県および宮城県にまたがる北上川流域14の自治体で構成される北上川連携協議会が主催となり開催されるこの活動に、吉浜小学校など市内の小学校や、岩手県奥州市、岩手町などのボランティアの方が集まり、総勢約700人が清掃活動をしました。

立神海岸で集めた大量の「ゴミの中には大きな流木やテレビなどもありました。参加者たちは実際に活動し、環境保全の意識を高めました。

清掃活動終了後は地元協力のにより、白浜海岸でおいしいシジミ汁を食へ、地引き網を体験し、地域間の交流を楽しみました。

石巻地区

毎週金曜日 ラジオ石巻で、絵本の読み聞かせが行われています。読み聞かせを行っている皆さんは、子育て中のお母さん方を中心としたサークル(リーダー遠藤静さん)で、絵本を持ちより、ボランティアで朗読をしています。

サークルの皆さんは、「放送中はちょっと緊張をしますが、ラジオを通じてかわいい子どもたちにお話しを読めることが喜びです」と話していました。サークルでは、子どもたちが大好きなお話しを読んでくれる方を募集しています。



「おはなし大好き ラジオで読んでみよう!」

楽しいよ!川に親しむ「カヌー体験」



6月29日(火)、北上川運河交流館近くの北上運河で、開北小学校4年生が総合的な学習「北上川」の一環として、「カヌー体験」を行いました。

NPO法人「ひたかみ水の里」代表新井さんの指導により、カヌーに乗り込んだ子どもたちは、歓声をあげながら、息を合わせてカヌーを漕ぎました。

「なかなかまっすぐ進むなかつたけど、慣れてくると思い通りに進むようになった」「他のカヌーとぶつかって落ちそうになつたけど、みんなで力を合わせて早く進むことができたのが良かったな」と子どもたちは川とのふれあいを楽しんでいました。